

1 事業概要

事務事業名 在宅医療介護連携推進事業		課名	長寿支援課	事業No.	364	
		会計	介護保険特別会計			
		事業区分	政策	実施区分	継続	
		開始	H28	終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称		
	戦略計画					
	分野別計画			高齢者福祉計画・介護保険事業計画		
法令・例規等			介護保険法			
			地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備に関する法律			
事業目的	対象	医療と介護の両方を必要とする高齢者				
	意図	地域における医療・介護の関係機関が連携し、在宅医療介護サービスを提供して地域で暮らし続けることができる				

2 事業内容

30年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	・高齢者が地域で安心して暮らしていけるよう、医療と介護の連携体制の構築のため、南信州広域連合が事務局を持つ「南信州在宅医療・介護連携推進協議会」における、退院調整ルールを活用、情報システムの普及、介護人材確保対策などの、検討・協議に協力して取り組みました。		負担金				325	
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度	令和2年度	
	在宅医療・介護連携推進のための協議会数	回	4	8	4			
30年度決算(千円)	予算額	325	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	325	(国) 地域支援事業交付金 (38.5%)					
	財源の状況	国庫支出金	125	(県) 地域支援事業交付金 (19.25%)				
		県支出金	63	(そ) 一般会計繰入金 (19.25%)				
		地方債	0					
		その他	63					
一般財源	74							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	5	5	3	1	40	1	325	325	在宅医療介護連携推進事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		・南信州広域連合が事務局を持つ「南信州在宅医療・介護連携推進協議会」における、退院調整ルールを活用、情報システムの普及、介護人材確保対策などの、検討・協議に協力して取り組みました。 ・今後も、飯伊地域の医療と介護の連携の体制整備の一層の推進のため、協議会に協力する必要があります。							
上記の課題解決のための有効策		・「南信州在宅医療・介護連携推進協議会」の協議に協力し、飯伊地域の医療と介護の連携の体制整備を推進します。							
次年度に向けての取り組み		・「南信州在宅医療・介護連携推進協議会」の協議に協力して取り組みます。							